

令和2年度スポーツ庁委託事業

「障害者スポーツ推進プロジェクト(地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業)」成果報告書

別紙 10 冊参照

2021年3月
NPO 法人スマイルクラブ

本報告書は、スポーツ庁の令和2年度委託事業として、NPO法人スマイルクラブが実施した、「障害者スポーツ推進プロジェクト(地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業)」の成果を取りまとめたものです。

従って、本報告書の複製、転載、引用等にはスポーツ庁の承認手続きが必要です。

《ここから事業完了報告の具体的な取り組み等を記載する。》

1. 実行委員会

(1) 会議の目的

新型コロナウイルス感染症時にも対応できる、障がい者スポーツを行う際の感染予防や対策に考慮した障がい者スポーツハンドブック等を作成するとともに、総合型地域スポーツクラブ、千葉県および広域スポーツセンター等と連携した障がい者スポーツ（パラスポーツ等）の普及について検討し、千葉モデルを構築する。

(2) 検討事項

1) 実行委員会にて

①全体概要 ②スケジュール ③メンバー等について

2) 障がい者スポーツハンドブック作成

①内容 ②担当 ③スケジュールを確認

3) パラスポーツ紹介事例（パラバドミントン）動画作成

①内容 ②担当 ③スケジュールを確認

(3) 実行委員会委員（敬称略、順不同）

1) 千葉県

渡邊国剛（千葉県教育庁教育振興部体育課スポーツ推進室生涯スポーツ班）
桃木一（同上）

2) 安藤裕一（スポーツドクター）

3) 谷藤千香（千葉大学准教授）

4) 兒玉友（日本福祉大学助教）

5) 大浜真（パラバドミントン選手）

6) NPO法人スマイルクラブ理事長 大浜あつ子

7) 事務局 NPO法人スマイルクラブ理事 大浜三平

(4) 実施時期、回数（実績）

実施時期は、

第1回目 2020年7月28日（火）9～11時

第2回目 2020年10月19日（月）10～12時

第3回目 2021年3月3日（水）13～15時 の3回

※新型コロナ感染予防のためオンラインにて開催

2. 地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業の取組内容

(1) 目的・実績

1) 目的

総合型地域スポーツクラブ、千葉県および広域スポーツセンター等と連携し、新型コロナウイルス感染症時にも対応できる、障がい者スポーツを行う際の感染予防や対策に考慮した障がい者スポーツハンドブック等を作成することにより、障がいのある人が施設や自宅等でスポーツを楽しむことができる環境を整備することを目的とする。

2) 実績

①障がい者スポーツハンドブック作成（1,000冊）

下記は内容案

ア) 総合型地域スポーツクラブについて

イ) 千葉県でのオリンピック・パラリンピック開催について

ウ) 千葉県総合型地域スポーツクラブ障がい者スポーツ事例

エ) パラスポーツ紹介（パラバドミントン）

- オ) 新型コロナウイルス感染症予防等
- カ) 千葉県の活躍期待選手インタビュー
- ② パラスポーツ紹介事例（パラバドミントン）動画作成（DVD100枚）
- ③ 配布先（197か所）
 - ア) 千葉県内特別支援学校（44か所）
 - イ) 総合型地域スポーツクラブ（90か所）
 - ウ) 千葉県柏市内小中学校（63校）

（2）取組内容（実施内容、実施時期、回数等）

1) 取り組み課題について

今回の取り組みは、下記3点を含んだ取り組みをおこなった。

- ① 地域で医療・福祉・教育・スポーツ等の関係者間の連携した取組をコーディネートする人材を育成・活用する。
⇒コーディネーターとして総合型地域スポーツクラブの大浜三平が担当し、委員として、医療関係者としてスポーツドクターの安藤裕一氏、福祉関係者として日本福祉大学の兒玉友先生、教育関係者として千葉大学の谷藤千香先生、スポーツ関係者として、千葉県体育課、パラスポーツ選手等と幅広い関係者に協力いただくことができた。
- ② 地域の障害者福祉施設・医療リハビリ施設・総合型地域スポーツクラブ等、障害者が日常的に利用する施設等におけるスポーツの機会を提供する。
⇒初回申請時では、このスポーツ機会の提供を予定していたが、新型コロナウイルス感染症により、直接的な提供はできなかったが、千葉県内の特別支援学校等ハンドブックや動画等でその機会を提供することができた。ただし、本来の障がい者スポーツの体験とは違うため、どこまでそれが伝わったかは不明確であるが、このようなコロナの時代に新たな方法で機会提供できたことは大きな収穫と考えている。
- ③ 障害当事者以外にも巻き込んだ障害者スポーツ種目の体験・理解の推進を図る。
⇒今回の配布先として、特別支援学校のみならず千葉県内の総合型地域スポーツクラブ、柏市内の小中学校へも配布することができ、間接的な方法ではあるが、障がい者スポーツ（パラバドミントン）の体験・理解の推進をはかることができた。

2) 実施内容

- ① 実行委員会の開催（目標の3回を実施）
 - 第1回目 2020年7月28日（火）9～11時
 - 第2回目 2020年10月19日（月）10～12時
 - 第3回目 2021年3月3日（水）13～15時 の3回※新型コロナウイルス感染予防のためオンラインにて開催
- ② 事務局の設置と責任者の配置
事務局をNPO法人スマイルクラブ内に設置し、責任者としてスマイルクラブ大浜三平（クラブマネージャーおよび障がい者スポーツ中級指導員）を配置。
- ③ 障がい者スポーツハンドブックの作成（1,000冊）
- ④ パラスポーツ紹介事例（パラバドミントン）動画作成 DVD100枚の作成
同時にスマイルクラブのYouTubeでも配信済 (<https://youtu.be/tGdKJRjiNj8>)
- ⑤ ハンドブック作成と配布（197か所）

（3）評価指標

※評価指標は、単なる行事の開催回数等ではなく、事業の効果を把握するための適切なものを設定してください。

- 1) 実行委員会の開催 予定3回に対し実績3回（達成率100%）

- 2) 事務局の設置と責任者の配置済
- 3) 障がい者スポーツハンドブックの作成 (1,000冊) →実績 1,000冊
- 4) パラスポーツ紹介事例 (パラバドミントン) 動画作成 (達成率 100%)
DVDの作成 (DVD作成 100枚) YouTube等の配信 → 実績すべて済
- 5) 報告書の作成 (100冊) 達成率 100%

3. 委託事業の成果の活用方法

- 1) 千葉県ホームページを活用した事業紹介等
- 2) 同 広域スポーツセンターホームページ活用の成果報告等
→千葉県 (上記1) 2)) については調整中
- 3) NPO法人スマイルクラブホームページ活用による成果報告
→スマイルクラブのホームページへ掲載済 (<http://smile-club-npo.jp/>)
→スマイルクラブ YouTube へ掲載 (<https://youtu.be/tGdKJRjiNj8>)
- 4) 本事業報告書作成・配布による成果報告
→千葉県内特別支援学校、千葉県内総合型地域スポーツクラブ
千葉県柏市内小中学校へ配布済

4 中間報告会資料 (2021年2月17日発表資料) 抜粋



2020年度スポーツ庁委託事業 報告書

“障がい者スポーツ推進プロジェクト”
(地域の課題に対応した障がい者スポーツの実施環境の整備事業)

2021年2月17日

CHIBA PARASPORTS PROJECT (CPP)

NPO法人スマイルクラブ





今回のプロジェクトの目的

障がい者スポーツ (パラスポーツ等) 普及のための千葉モデルの構築

目的

新型コロナウイルス感染症時にも対応できる、障がい者スポーツを行う際の感染予防や対策に考慮した障がい者スポーツハンドブック等を作成するとともに、総合型地域スポーツクラブ、千葉県および広域スポーツセンター等と連携した障がい者スポーツ (パラスポーツ等) の普及について検討し、千葉モデルを構築する。

- 1 実行委員会
- 2 障がい者スポーツ
ハンドブック作成
- 3 パラスポーツ紹介
(パラバドミントン動画)

CHIBA PARASPORTS PROJECT

千葉県体育課
広域スポーツセンター

専 門 家

スマイルクラブ

千葉県内総合型地域スポーツクラブ

↑ ↓ パラスポーツの普及

千葉モデル



ハンドブック作成と動画作成の役割分担について（案）（敬称略、順不同）

障がい者スポーツハンドブック作成（36頁）
（基本WORD）
※メイリオ11

- 1 総合型地域スポーツクラブについて（谷藤）
- 1) 全国および千葉県の状況（課題含） 2) 新認証制度
- 2 千葉県でのパラリンピック開催について（千葉県）
- 1) 種目 2) 会場 3) 日時等 ※チーパ君の様々なイラスト使用希望
- 3 千葉県での総合型地域スポーツクラブでの障がい者スポーツ事例（事例：スマイルクラブ他）（スマイルクラブ）
- 4 パラスポーツ紹介（パラバドミントン）（兒玉）
- 5 新型コロナウイルス感染症予防等（安藤）
- 6 千葉県の活躍期待選手のインタビュー（千葉県）
- 7 ハンドブック中のイラスト・基本スマイルクラブスタッフが作成

パラバドミントン動画作成（DVD）
15～20分

- 1 全体構成（兒玉）・・カテゴリー、ルール、実際のプレー
- 2 パラバドモデル（大浜真）
※カテゴリー、ルール等
- 3 自宅トレーニング

ハンドブックイメージ

- 1 千葉県の総合型地域スポーツクラブについて
- 2 千葉県内で開催のオリパラ種目説明
- 3 パラバドミントンについての説明



- 4 コロナ感染症予防対策
- 5 日本を代表する千葉県内のパラリンピック選手紹介

動画イメージ（約7分）パラバドミントンの紹介動画（CDにて配布予定）



今回の事業の成功事例と課題について

【成功事例】ネットワークの広がり

1) 千葉県での広がり

この事業がきっかけで、千葉県と連携してこのプロジェクトを推進し、千葉県庁のいろいろな部署（体育課、オリパラ推進室、広報（チーバくん）等）との連携ができた。

2) 青森県教育庁特別支援室との情報共有

同じ委託事業を推進している青森県と障がい者スポーツについての情報交換ができ、次年度以降の障がい者スポーツのヒントをいただいた。

【課題点】障がい者スポーツ体験について

もともと障がい者スポーツを体験していただくことを想定していたが今回の事業は新型コロナウイルス感染症により、間接的な方法（ハンドブックや動画の作成など）となり、本来伝えたいところが伝わりにくいのではないかと感じている。今後もこのような状況が続く場合の解決方法がまだ見つかっておらず、手探り状態である。

以上